

世界的な株価急落と今後の見通し



シニア・ストラテジスト 石黒英之

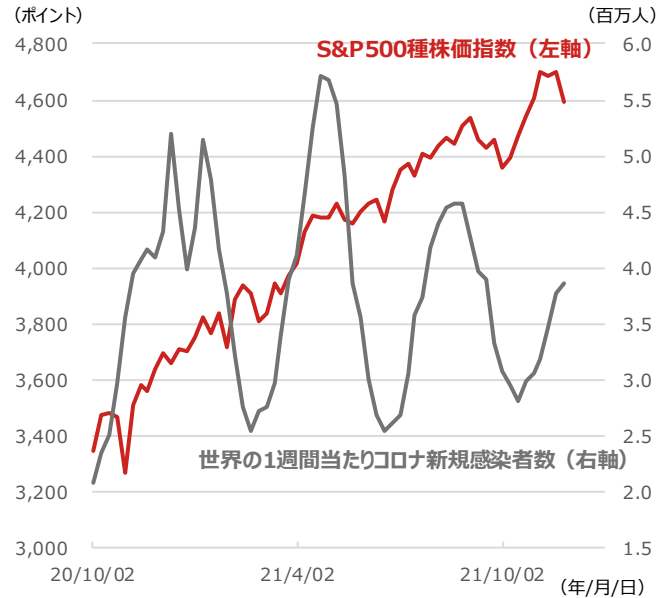
ポイント① コロナ新変異株で世界株安

26日にダウ工業株30種平均が905米ドル安となり、今年最大の下げ幅を記録したほか、欧州・アジア株も大きく下落するなど、世界的に株安の動きとなりました。南アフリカで新型コロナウイルスの新たな変異株が見つかったことをきっかけに、世界景気が減速するとの見方から、リスク回避姿勢が強まった形（NY原油先物も大幅安、米長期金利も急低下）です。ただ、新型コロナウイルスへの懸念からリスクオフの動きが強まる場面はこれまで何度かありましたが、影響は短期的なものに留まってきたことを忘れてはなりません。昨年から今年にかけて世界のコロナ新規感染者数が大幅に増加した局面をみても、S&P500種株価指数は上昇トレンドを維持してきました（右上図）。もちろんWHO（世界保健機関）が26日に新たな変異株について「懸念すべき変異株」に指定したこともあり、予断を許すべきではありませんが、過度に悲観視せず冷静に対応することも重要です。

ポイント② 不安心理が高まった場面は冷静に

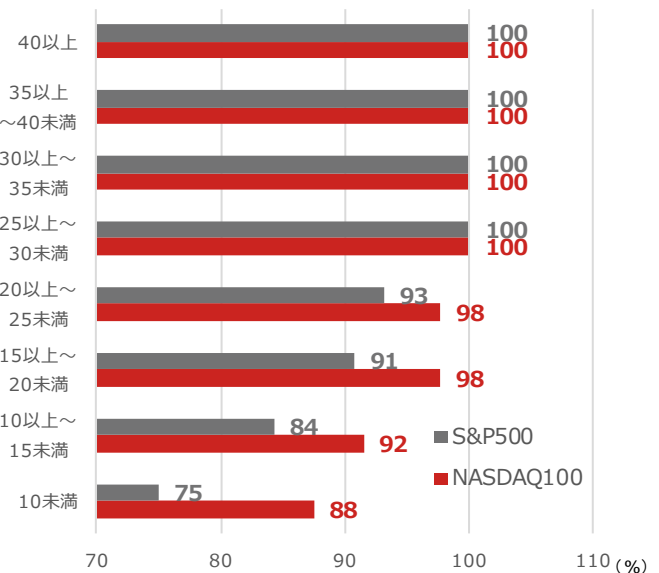
26日現在、米実質金利は-1.1%となっており、リスク資産に資金が向かいやすい地合いであることに変わりはありません。待機資金とみられている米MMF（マネー・マーケット・ファンド）残高は直近で約4.6兆米ドルと高水準に積み上がっていますし、主要国企業に対する業績期待も根強い状況です。今回の新たな変異株出現を受けて「恐怖指数」の異名をとる米VIXは26日に28.62まで上昇しました。VIXの水準別の1年後株価上昇確率をみると、25以上で投資した場合、1年後に株価が上昇している確率は2009年以降で100%となっています（右下図）。不安心理が高まった場面は複数回に分け、冷静に下値を拾うのも一手と考えられます。

S&P500種株価指数と世界のコロナ新規感染者数



期間：（S&P500種株価指数）2020年10月2日～2021年11月26日、週次
（コロナ新規感染者数）2020年10月4日～2021年11月28日、週次
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

VIXの水準別の1年後株価上昇確率



期間：2009年1月2日～2021年11月26日、週次
・縦軸：VIX水準
・横軸：1年後株価上昇確率
・VIXとは米シカゴ・オプション取引所が、S&P500種株価指数を対象とするオプション取引の変動率を元に算出、公表している指数。一般的にVIXの数値が高いほど、投資家の先行き不透明感も強いとされる。
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一の見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。